

一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原章寛様

三島市議会議員 20番 石井真人

質問事項1	分散型地域づくりと新庁舎の在り方について
具体的内容	政府がデジタル田園都市国家構想を掲げ東京一極集中を是正し分散型社会の構築を目指す中で、本市においても複雑化する地域の課題に対応するためには、地域の拠点強化が必要となる。本市の分散型地域づくりの考え方と新庁舎を含めた公共施設の在り方を以下に伺う。
	1. 地域共生社会を目指す上で地域ニーズが多様化しており地域の拠点である文化プラザや公民館での行政機能を拡充し、更に地域包括支援センターを移設し地域の拠点強化ができないか。
	2. 本庁と文化プラザをネットワークで結び行政サービスのワンストップ窓口化の考えはあるか。
	3. AIやRPAの導入で本庁の浮いた人員を地域拠点に配備し、プッシュ型行政への転換の考えは。
	4. 公共施設保全計画の中で“新庁舎のコンセプトを三島市スマート市役所宣言に基づき、AIやRPAなどを積極的に利用した「市役所に来る必要がない市役所」とし市民サービスのあり方を変えていく。”としているのであれば新庁舎を集約型複合施設とするのは矛盾しないか。
	5. コロナによる影響で新庁舎建設の計画を変更する自治体はあるが、三島市はどうか。今後、計画の見直しを図る予定は。集約型複合施設と地域分散型施設の比較検討はしたのか。
	6. 10年後以降の職員配置の考え方は。本庁舎に職員を集約する理由と職員数減少への対応は。
	7. 洪水ハザードの浸水エリア内にある南二日町広場を新庁舎の候補地とした理由は。洪水被害が増加する中での災害リスクへの対策。洪水発生時の職員招集や防災備蓄品の搬出の考え方。
	8. 市民の声を聴く前から、既にサウンディング調査の2候補地ありきで進めていないか。また、市民会議で検討が上がった南田町広場、生涯学習センター、その他を選定しなかった理由は。
	9. 今後、2候補地以外の候補地を選定する可能性はあるのか。現在地建設の場合の仮移転先は。
	10. 2031年4月以降に集約型複合施設となった新庁舎を核とした三島市の将来都市ビジョンは。
質問事項2	三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況について
具体的内容	三島駅東街区再開発事業に関して、令和3年10月時点での工事内容や事業費及び市の負担額等の変更点が発表された。以下に、事業進捗状況の発表を踏まえた質問を行う。
	1. 第7回地下水対策検討委員会で委員より地球温暖化で静岡県の間年降水量が10%増による地下水位上昇の指摘があったが、今後10%増で地下水位が基礎底面よりも上回ることはないか。
	2. 高層棟や駐車場を建設する際、埋土と溶岩の一部を削ることになるが、溶岩はどの程度の量を掘削することになるか。工事費の増加懸念、湧水など自然への影響、周辺住宅への影響は。
	3. 総事業費の8億円増の理由を工事単価上昇としているが、具体的に用いた算出根拠は何か。直近1年間で建設工事費デフレーター（国交省）は4%以上増加しており、直近の工事費の上昇幅を勘案すると着工年で更なる増加が懸念されるが、今後の工事費と補助額の見通しは。
	4. 社会資本総合整備計画等の国や県からの交付可能な内定額はいくらなのか。補助額の変更は国と県と合わせて9億円増となるが、増額に対し国や県はどのような見解を持っているか。
	5. 設計変更や延期により費用便益比は1.0近くになると推測。三島市として費用便益比を再計算する予定は。1.0を切っていないという数字的な裏付けによる根拠を示していただきたい。
	6. 今後、外部環境の変化などにより、更なる変更でB/Cが1.0を切る可能性もあると考えるか。
	7. 全体事業費の変更、期間の延期、費用便益比の悪化など、当初提出した社会資本総合整備計画から変更点が生じているが、今後の変更申請の提出の考えや事業の中間評価の予定は。